

第 65 回国民体育大会(千葉県) 実施要項総則

開催の趣旨

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。

千葉県で開催する第 65 回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」は、「今 房総の風となり この一瞬に輝きを」のスローガンのもと、簡素な中にも、心のこもった千葉ならではの国体となるよう、618万県民一人ひとりの参画と協働により、全国から訪れる方々をおもてなしするとともに、アスリートの能力を最大限に発揮できる大会を目指し、千葉県の多様な魅力を結集した「夢と感動」に溢れる大会を開催するものである。

実施方針

1 実施競技

正 式 競 技	公開競技
陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ	高等学校野球 トライアスロン

2 会期及び会場地

会 期	会場地	会場地数
平成 22 年 9 月 25 日(土) ～10 月 5 日(火) 〔11 日間〕	千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、柏市、勝浦市、市原市、八千代市、我孫子市、鴨川市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、印西市、南房総市、匝瑳市、香取市、いすみ市、大網白里町、白子町	29 市 2 町
※水泳競技会は下記日程で実施 平成 22 年 9 月 8 日(水) ～17 日(金)〔10 日間〕	習志野市	1 市
※ゴルフ競技会は下記日程で実施 平成 22 年 9 月 21 日(火) ～23 日(木)〔 3 日間〕	成田市	1 市

3 競技方法

正式競技は都道府県対抗とし、公開競技についてはそれぞれの実施要項に示す方法とする。

4 ドーピング検査の実施

検査は、日本ドーピング防止規程及び関連規則に基づき実施する。

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

監督及び選手の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、下記のとおりとする。

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、成年又は少年の種別に参加することができる。

(ア) 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち永住者（日本国との平和条約に基づく日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める特別永住者を含む。）

(イ) 学校教育法第1条に規定する学校に在籍する学生又は生徒

ただし、

- a 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学生及び家族滞在（中学3年生）については、大会実施要項が定める参加申込締切時に1年以上在籍していること。
- b 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、留学生については、参加できない。

(ウ) 参加しようとする当該年以前に前号(イ)の規定に該当していた者。

イ 選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長と体育協会会長が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 第63回又は第64回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き、第63回又は第64回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

- a 平成21年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚又は離婚に係る者
- c ふるさと選手制度を活用する者（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

(イ) 少年種別

- a 平成21年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚又は離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「一家転住等」に伴う特別措置の考え方による。）
- d JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」による。）

エ 選手及び監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ア) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

- (イ) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
 - (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。
- (2) 所属都道府県
- 所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。
- ア 成年種別
- (ア) 居住地を示す現住所
 - (イ) 勤務地
 - (ウ) ふるさと（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）
- [注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。
- イ 少年種別
- (ア) 居住地を示す現住所
 - (イ) 学校教育法第1条に規定する学校の所在地
 - (ウ) 勤務地
 - (エ) 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」（別記3）に定める小学校の所在地
- ※ 上記に属する都道府県のうち、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」のいずれかから参加する場合は、平成22年4月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。
- [成年種別]
- a 属する都道府県として「ふるさと」を選択する場合（「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む）
- [少年種別]
- a 「一家転住」した場合
 - b 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例」の適用を受ける場合
- (3) 選手の年齢基準
- ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。
- (ア) 成年種別に参加する者は、平成4年4月1日以前に生まれた者とする。
 - (イ) 少年種別に参加する者は、平成7年4月1日以前に生まれた者から平成4年4月2日以後に生まれた者とする。
 - (ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、平成22年4月1日を基準とする。
- イ (財) 日本体育協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生とする。
- (4) 前記の各事項に疑義のあるときは、(財)日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、(財)日本体育協会がその可否を決定する。

別記1【国民体育大会ふるさと選手制度】

- (1) 成年種別に出場する選手は、開催基準要項細則第3項〔本則第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

ア 居住地を示す現住所

イ 勤務地

ウ ふるさと

(2) 「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。

(3) 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。

(4) 「ふるさと」から参加する選手は、開催基準要項細則第3項- (1) - 1) - ③ (国内移動選手の制限) に抵触しないものとする。

(5) ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。

(6) 参加都道府県は「ふるさと選手」を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込み締切り期日までに、(財)日本体育協会宛に提出する。

別記2【「一家転住等」に伴う特例措置の考え方】

転校への特例

1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限 (開催基準要項細則第3項- (1) - 1) - ③) に抵触しないものとする。

(1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。

(2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。なお、「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

ア 親の転勤による一家の転居

イ 親の結婚、離婚による一家の転居

ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居

(3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。

ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。

イ 報告を受けた都道府県体育協会及び都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。

2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下の通りとする。

(1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。

ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合

イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合

ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合

(2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。

ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3【JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置】

財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記（１）に該当する者については、開催基準要項細則第3項及び「国民体育大会ふるさと選手制度」に関し、下記（２）～（４）の特例を適用する。

（１）対象者

- ア 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- イ 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

（２）少年種別年齢域の選手の所属都道府県

（１）アに定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、「(ア)居住地を示す現住所」、「(イ)学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「(ウ)勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

（３）成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

（１）イに定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」（２）に定める卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

（４）国内移動選手の制限に係る例外適用

（１）アに定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、開催基準要項細則第3項 - (1) - 1) - ③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注]（１）イに定める成年種別年齢域の選手については、開催基準要項細則第3項 - (1) - 1) - ③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

- （１）次のア、イの得点を合計したものを都道府県ごとの男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次の2種類とする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものに加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	—————	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

[注]「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

- (2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。
- (3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民体育大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表 彰

- (1) 冬季大会及び本大会を通して実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会及び本大会を通して実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民体育大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別及び各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 各競技の参加申込方法

- (1) 都道府県の体育協会会長及び各競技団体会長は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び(財)日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長あてに申込むものとする。
- (2) 参加申込みは、定められた締切日までに所定の手続きにより行う。
- (3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
①平成 22 年 8 月 18 日（水）	水泳、ボート、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
②平成 22 年 8 月 31 日（火）	柔道
③平成 22 年 9 月 1 日（水）	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、高等学校野球

- (4) 参加申込様式は、(財)日本体育協会が実施競技団体と協議の上、作成する。
- (5) 参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、下記あてに所定の様式にて届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ ゆめ半島千葉国体実行委員会事務局

ウ ゆめ半島千葉国体各競技会場地市町実行委員会

なお、(財)日本体育協会に対しては、大会終了後、別途所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 各競技会の棄権手続き

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 本大会に選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県体育協会は、一人当たり次のとおり参加負担金を納入する。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	1,500 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	2,000 円

(2) 大会参加負担金は、各都道府県体育協会できりまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入締切日

平成 22 年 9 月 1 日（水）

イ 納入先

みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729

財団法人日本体育協会

11 宿泊申込み

大会参加者は、ゆめ半島千葉国体実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12 参加選手団本部役員編成及び視察員

(1) 参加選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。

イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。

(2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。

(3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

(4) 参加選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。

(5) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、平成 23 年以降の国民体育大会の開催が決定又は内定している都県については、山口県 100 名以内、岐阜県及び東京都 60 名以内、長崎県及び和歌山県 40 名以内とする。

13 参加章、大会参加記念章及び視察員章の交付

参加章、大会参加記念章及び視察員章は、次の者に交付する。

(1) 参加章

都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技役員

(2) 大会参加記念章

デモンストレーションとしてのスポーツ行事参加者

(3) 視察員章

視察員

14 参加上の注意

(1) 大会期間中は、交付された参加章、大会参加記念章又は視察員章を着用しなければならない。

(2) 参加章及び視察員章着用者は、総合開・閉会式を除くすべての競技会場に入場することができる。

(3) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、所属都道府県を明示したユニフォームを着用しなければならない。

15 都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1) 都道府県の主催団体は、(財)日本体育協会及び中央競技団体等関係団体と協議のうえ本要項に基づき実施要領を作成する。

(2) 参加者は、実施要領に基づき当該都道府県主催団体に申込む。なお、参加は1人1競技に限る。

(3) 申込みは、すべて各競技団体所定の参加申込用紙による。

(4) 参加料を徴収する場合の金額は、主催団体が中央競技団体と協議のうえ定める。

(5) 競技運営に差し支えない限り、千葉県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

16 国民体育大会参加者傷害補償制度

(財)日本体育協会及び都道府県体育協会は、国民体育大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民体育大会参加者傷害補償制度を運営する。

(1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。

(2) 大会参加の都道府県体育協会は、国民体育大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、(財)日本体育協会に納入する。

(3) 納入締切日及び納入先については別途(財)日本体育協会から都道府県体育協会へ通知する。

17 文化プログラム

文化プログラムは、次表のとおりとし、実施については、文化プログラム実施基準に基づくものとする。

(平成 22 年 3 月 1 日現在)

文化プログラム	会 場 地	会場地数
全国スポーツ写真展 手をつなぐスポーツのつどい絵画展 千葉県文書館企画展 アートコレクション展「針生鎮郎」 アートコレクション展「富取風堂」 アートコレクション展「浅井忠・フォンタネージとバルビゾン派」 アートコレクション展「水彩画の魅力」 アートコレクション展「工芸の技と美」 ワークショップ「親子でクラフト」 ワークショップ「モノレールデコレーション」 秋の展示「様々な昆虫の世界」 生態園トピックス展「まちなのコウモリ」 千葉県警察音楽隊金曜コンサート (社) 千葉県鍼灸マッサージ師会生涯研修会公開講座 第 39 回マチングバンド・バトントワリング千葉県大会 BAY SIDE JAZZ 2010 CHIBA 総合文化祭「第 43 回合同写真展」 第 41 回千葉演劇祭 『座・劇列車』公演 第 33 回千葉県写真展 第 60 回記念千葉デザイン展 2010 第 57 回千葉県勤労者美術展 第 15 回食文化フォーラム 第 37 回ちば映像祭 第 21 回千葉県教育芸術祭 第 62 回千葉県美術展覧会 (県展) 第 79 回千葉県三曲協会演奏会 第 52 回千葉県俳句大会 第 45 回千葉県川柳大会 第 32 回ちば秋の詩祭 平成 22 年度千葉県民謡民舞祭 千葉・県民芸術祭記念コンサート 篠笛のつどい (仮)	千葉市	28 市 8 町 1 村
ヒゲタ醤油銚子工場・史料館 第 41 回千葉演劇祭 劇団日曜会公演	銚子市	
企画展「みる！みえる？錯視から探る視覚のメカニズム (仮)」	市川市	

市内障害児者美術展		
第16回鬼高さんしゃ祭		
市川市映像コンクール授賞式及び優秀作品上映会	市川市	
グリーンシアター		
映文シネマズ		
市川市ゆかりのスポーツ選手グッズ展覧会		
第5回いちかわ市民ミュージカル公演	船橋市	
水木洋子生誕100周年記念「女の一生～水木洋子ワールド！」		
第33回船橋市いけばな展		
“ゆめ半島千葉国体2010”開催記念 「ふなばし青少年ふれあいコンサート」	館山市	
ベイパークフェスティバル		
第63回館山市文化祭	館山市	
館山市立博物館企画展		
南総里見まつり	木更津市	
「浮世絵－相撲絵の世界－」＋「思い出の郷土力士」展（仮）		
第37回松戸まつり	松戸市	
学習資料展「昔のくらし探検」		
企画展「湯浅コレクション展」（仮）		
庭からみよう！戸定邸		
庭園音楽プロジェクト2010		
戸定菊花祭		
徳川昭武のみた明治のまつど		
徳川慶喜家資料新収蔵展		
利根運河通水120年記念合同企画事業「利根川舟運と利根運河」	野田市	
野田市鈴木貫太郎記念館		
利根運河通水120年記念合同企画事業「利根運河の観光と自然」（仮）	茂原市	
茂原市立美術館収蔵絵画展「房総の風景と人物画展」		
第23回千葉県吹奏楽祭	成田市	
佐倉の秋祭り	佐倉市	
ゆっくり歩こう	東金市	
東金市民体育祭		
野球の歴史～その誕生からワールド・ベースボール・クラシックまで～	旭市	
企画展「協同組合の源流を探る」		
「シンクロ&ダンス 若きゆめの舞」（仮）	習志野市	
花と緑のフェスティバル2010 in 柏の葉	柏市	
船上から手賀沼の環境を考えよう		
アートラインかしわ2010		
東京大学柏キャンパス一般公開		
あけぼの山農業公園まつり		
旧吉田家住宅歴史公園		
第57回柏市文化祭		

第7回企画展 手賀の歴史を歩こう		
わいわい工作教室①竹鉄砲&的づくり そば打ち体験教室	柏市	
収蔵資料展「サメの世界史」 勝浦大漁まつり（勝浦秋季合同祭典） コスモスフェスタ in 勝浦	勝浦市	
第6回上総まほろば祭 鼓童 ONE EARTH TOUR 2010	市原市	
市原フィルハーモニー管弦楽団 第23回定期演奏会 利根運河通水120年記念合同企画事業 「利根運河120年の記録～魅力ある土木遺産」	流山市	
八千代の遺跡 文化伝承館展示事業 星襄一作品展Ⅱ、Ⅲ 八千代市収蔵美術作品展	八千代市	
第8回八千代市川柳大会 第57回鳥の博物館友の会展	我孫子市	
第22回青年の家まつり 訪ねて語ろう自然と文化 房総の秋を食べよう アウトドアクッキング	鴨川市	
第40回鴨川市文化祭 きみかめ山のフェスティバル		
君津市漁業資料館常設展示 平成22年度企画展示事業 久留里城戦国ロマンウォーク 生きた水の里「久留里城まつり」 きみつの歴史・文化探訪ハイキング	君津市	
富津市民文化祭2010	富津市	
第59回千葉県吟剣詩舞道大会	四街道市	
錦織健&朝川朋之コンサート ～風に揺らぐ彫刻～上田一明展	印西市	
第44回のさか文化祭 第58回八日市場文化祭芸能発表会 若潮国体写真展	匝瑳市	
第32回よかつぺ祭り 収蔵品展「むかしの道具」 夢・創造 少年自然の家まつり	香取市	
大原はだか祭り 長者・中根十三社秋祭り いすみ市水彩ギャラリー いすみ市郷土資料館（田園の美術館）	いすみ市	

酒々井町史跡ウォーキング	酒々井町	
企画展「仏師賢光の足跡」(仮)	印旛村	
稲穂まつり	栄町	
房総座		
企画展「農耕図を読み解く」(仮)	大網白里町	
歴史の里の音楽会		
大網白里町産業文化祭「文化の部」	大網白里町	
横芝光町図書館ギャラリー	横芝光町	
特別展「なつかしの1973年千葉若潮国体」	睦沢町	
長南町町民文化祭	長南町	
企画展「武と華やぎの装い」	大多喜町	
体験教室甲冑試着		
収蔵資料展「合戦と武器・武具」		
鋸南町歴史民俗資料館	鋸南町	
城西国際大学公開講座	県内各地	

18 デモンストレーションとしてのスポーツ行事

デモンストレーションとしてのスポーツ行事は、次表のとおりとし、実施については、デモンストレーションとしてのスポーツ行事実施基準に基づく実施要領による。

デモンストレーションとしてのスポーツ行事	会 場 地	会場地数
アイスホッケー	千葉市	15市8町
少林寺拳法	千葉市	
ゲートボール	千葉市	
ダンススポーツ	千葉市	
スポーツチャンバラ	千葉市	
ユニバーサルホッケー	千葉市	
ウォーキング	千葉市、南房総市、香取市	
ウォークラリー	茂原市、神崎町	
ターゲット・バードゴルフ	佐倉市	
ペタンク	柏市	
グラウンド・ゴルフ	市原市、白井市	
キッズサッカー	市原市	
武術太極拳	流山市	
ヘルスバレーボール	流山市、東庄町	
インディアカ	鎌ヶ谷市	

3B体操	浦安市	
ビリヤード	浦安市	
バウンドテニス	八街市	
ティーボール	印西市	
ソフトバレーボール	富里市	
オリエンテーリング	山武市	
パークゴルフ	酒々井町、御宿町	
サイクリング	栄町	
綱引	多古町	
キンボール	大多喜町	
スカッシュ	鋸南町	

19 その他

- (1) 参加申込み及び宿泊申込みが、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた締切日までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。
- (2) その他の事項については、国民体育大会開催基準要項及び同細則による。